

請願の採択を求めて討論 田口一登議員（12月6日本会議）

# 相生山の道路廃止でこそ自然も生活も守れる

## 道路事業中止の請願を不採択に

12月6日に閉会した名古屋市会11月定例会では、相生山の道路をめぐって、「弥富相生山線の完成に必要な予算措置を速やかに講じ、早期に開通させることを求める」請願が自民・民主・公明の賛成で採択され、「相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める」請願が不採択になりました。

田口議員は本会議で、「相生山緑地に関する道路事業の廃止……」請願の採択を求めて討論を行いました。田口議員の発言内容を紹介します。

## 「自然環境の保全と生活環境の改善を両立させる」ことを基本に

田口議員は、「弥富相生山線について、着工前の2002年から、この議場で8回にわたって質問してきました。」と語り、基本的なスタンスについて、「地元住民の間で賛成、反対と意見がわかれている問題であることから、『自然環境の保全と生活環境の改善を両立させる』ということにあった。」とすとして、改めて問題解決の道を示しました。

## 市長の廃止表明で保全の道へ

市長が道路事業の廃止を表明したことによって、相生山緑地の分断が避けられ、自然環境を保全する道が開けました。緑地近隣地区において通過自動車

の入り込み対策が講じられ、野並・島田両交差点の渋滞対策も計画されるなど、生活環境の改善も図られつつあります。

道路事業を廃止してこそ、自然も生活も守ることができるのです。



## 市長は、住民への丁寧な説明を

ただし、市長の判断に反発する声もあることから、住民の理解と合意を得ながら進めることが肝要です。市長は廃止表明後、住民にたいして一度も直接説明されていません。

市長には、住民にたいする丁寧な説明を求めます。

## 議会も「市長の責任で決定を」と決議

議会は、2014年2月定例会において、「弥富相生山線の建設工事については、市民に責任を押しつけることなく、市長の責任で決定をすること」との附帯決議を上げています。

この附帯決議を踏まえるならば、市長の責任でくだされた道路事業廃止の判断を、議会としても尊重すべきです。

\*田口議員に与えられた時間は2分。その中で以上の意見を表明して請願の採択を求めましたが、不採択となりました。

### 請願審査の結果（2019年12月6日本会議）

請願名	結果	各会派の態度					
		共	自	民	減	公	無
（請願第11号）子どもたちが健やかに育つために名古屋市の保育・子育てを豊かにすることを求める件（第1項及び第6項）	不採択	○	●	●	●	●	●
（請願第9号）相生山緑地に関する道路事業の廃止と整備について、市民による住民意向調査の集計結果を尊重し、反映させることを求める件	不採択	○	●	●	○	●	○
（請願第12号）弥富相生山線の完成に必要な予算措置を速やかに講じ、早期に開通させることを求める請件	採択	●	○	○	●	○	●

○=採択 ●=不採択 共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 減：減税日本ナゴヤ 公：公明党 無：無所属の会